

都学歯広報

T O G A K U S H I + K O H O

123
2018.11

平成29年度

「歯・口の健康に関する図画・
ポスターコンクール」優秀作品
小学校高学年の部 第1位世田谷区立塚戸小学校6年
和田璃々花さん

CONTENTS

- インタビュー 役員人物探訪 2～3
鈴木 博副会長／坂本真理子監事
- 地区学校歯科医会からのメッセージ 4～5
日野市歯科医会／
東大和市歯科医師会東大和学校歯科委員会
- 「口臭」をテーマとした学術研究について 6
- 第69回関東甲信越静学校保健大会及び
歯科職域部会に参加して 7
- 地区ニュース 8
麻布赤坂／神田／京橋／麹町
- トピックス 9～11
平成30年度第1回参事会／創立70周年・法人化40
周年記念式典・祝賀会 第1回実行委員会／平成
30年度健康づくりフォーラム／平成30年度 作文
審査会／平成30年度「歯・口の健康に関する図
画・ポスターコンクール」審査会および優秀作品
の展示／城東地区学校歯科医会連合会役員連絡協
議会／平成30年度学校保健(学校歯科医)研修会／
平成30年度ブロック別学校歯科医研修会
- 第53回東京都学校歯科保健研究大会・予告 12
- 会務報告・訃報 12



鈴木 博
副会長

・ ご出身は？

実家は板橋区ですが、生まれたのは埼玉県和光市です。

・ 何人兄弟でいらっしゃいますか？

大好きな兄と、お守りのような妹がおります。

・ 子供のころはどのようなお子さんでしたか？

幼稚園までは兄とばかり遊んでいました。

・ 子供のころは何になりたかったですか？

「少年発明王(テレビ番組)」のフジオ君です。

・ ご自身の性格はどのように思われますか？

おそらく多動性障害だと自己診断しています。

・ ご家族は何人でどのような構成ですか？

妻と、チワワに面倒をみてもらっています。息子と娘は独立しています

・ ストレス発散のためにすることなどありますか？

テレビを見ることです。

・ 座右の銘は何かありますか？

「淡き水の交わり」です

・ 学生時代に何かクラブに所属されていましたか？

膝を壊す前は空手部でした。その後はバキュームデンチャーで有名な阿部二郎先生とバンドを組んで演奏したり、法歯学の花岡洋一教授と映画を撮ったりしていました。

・ 学生時代に何か思い出に残っていることはありますか？

故平井満喜男教授（英語）のご自宅に毎年呼んで頂いて、お酒の楽しさを教えてもらったこと（同窓には自慢できます）。

・ 学校歯科医をしていて、うれしかったこと、楽しかったことなどありますか？

学校の歯医者さん達に会えたことです。出身校や面識の有無に関係なく、初めて会った時から助け合ったり高め合ったりしているのを見て「人を信じる」という気持ちになりました。これホントです。

・ 副会長として、都学歯を見て、感じたこと、思うところをお聞かせください。

他の会にも関わって都学歯を俯瞰できる立ち位置なので、外の社会の価値観と乖離していかないように気をつけたいと思います。

・ 都学歯にかかわらず、これから学校歯科医会として、やっていかなければならないことや、今後の課題などがありますか？

学校医、学校薬剤師の先生方に比べて、かなり少ないと言われている学校歯科医の執務回数は、子供たちの生きる力を育むうえでも心配です。「呼ばれていないのに行けないよ」と言うご意見ももったもなので、この辺りに私たちの仕事のヒントがあると考えています。

坂本真理子 監事



- ・ご出身は？
東京都渋谷区代々木出身です。
- ・何人兄弟でいらっしゃいますか？
2人兄妹の妹です。
- ・子供のころはどのようなお子さんでしたか？
両親が仕事をしていたので、独立心旺盛な子供でした。
- ・子供のころは何になりたかったですか？
父や母と同じ医者になりたかったです。
- ・ご自身の性格はどのように思われますか？
前向きで裏表がない人柄だと思います。
- ・ご家族は何人でどのような構成ですか？
子供は娘と息子、2人共結婚して世帯は別です。今は夫と犬とネコ2匹と暮らしています。
- ・ストレス発散のためにすることなどありますか？
美味しい物を食べたり、韓流ドラマを見たり、宝塚を見に行ったりすることです。
- ・座右の銘は何かありますか？
「一日一生」
天台宗の酒井雄哉さんの言葉です。

- ・学生時代に何かクラブに所属されていませんか？
ボウリング部。ゴルフ部に入ればよかったです。
- ・学生時代に何か思い出に残っていることはありますか？
登院してから夜中までラボをしていたことです。
- ・学校歯科医はいつごろから、どのような学校を担当されましたか？
昭和62年から渋谷区立幡代小学校です。父が小児科医で同地区の校医だったので、私も学校歯科医をお引き受けしました。
- ・学校歯科医をしていて、うれしかったこと、楽しかったことなどありますか？
子供達と交流が出来たことや町で子供達から挨拶してくれることです。
- ・監事として、都学歯を見て、感じたこと、思うところをお聞かせください。
理事の先生方が、ご自分のお仕事がありながら一年間の多くの事業をこなされている姿に感動しております。
- ・都学歯にかかわらず、これから学校歯科医会として、やっていかなければならないことや、今後の課題などがありますか？
子供達の健康教育の受け皿である開業医の方々にもっと学校歯科医の重要性、活動内容を知っていただきたいと思っています。

地区学校歯科医会からのメッセージ

日野市歯科医会

会長 木村 篤

日野市歯科医会は八南歯科医師会に所属する会員約70名の組織です。日頃から、児童、生徒の歯・口を通した自己管理能力の育成に取り組んでいます。東邦歯科医療専門学校のバックアップも受け、養護教諭向け研修会、幼稚園・保育園職員向け研修会を行い、また、学校課と連携しながら、歯みがきウィーク、ポスター用の作品募集、養護教諭との懇談会を毎年開催しています。

学校歯科保健の「教育」「管理」「組織活動」における、「管理」の中で行われる健康診断の結果を、いかに「教育」へフィードバックしていくか。単なる治療勧告ではなく、結果を教材として健康教育に結び付けることが、学校歯科における歯科医師の役割だと考えています。口腔内は、直視出来、生え変わりなどダイナミックに変化する組織で、自己管理能力を身に着ける学習教材としてはとても優れたものです。学校、医療の場では、得てして、悪いところを探し、直す、或いは治すことがメインになる傾向にあります。が、「良いところ」を見つけ出し、伸ばしていく姿勢、目線も大切だと考えています。疾病ではなく、健康を対象とする学校歯科保健は、医療ではなく、教育の場であるということを念頭に入れ取り組むことにより、非常勤としての学校歯科医の手腕が発揮されるでしょう。

「これをやらないと大変な思いをするよ」ではなく、「これをやればこんなにいいことがあるよ」というモチベーションが高まる取り組みが必要だと思っています。その一環として行われている「日野市一斉歯みがきウィーク」についてお伝えします。平成17年からスタートし、今年で14年目を迎えました。教育と医療の現場が程よく力を合わせ、定着した事業となりました。

幼稚園での給食後は歯みがき習慣があるのに対して、小学生になるとそれがなくなることに注目し、平成17年5月に学校歯科小委員会を発足させ、給食後の歯みがき励行を検討しました。まず

イベント実施に際してのスケジュールを立て、それに従い準備しました。事業計画書を作成し、教育庁、校長会、養護教諭に配布し、協力要請をしました。校医にも事前に内容を把握してもらうためにマニュアルを作成し、平成17年11月8

日の前に説明会を開催し配布しました。その結果11月8日、いい歯の日に日野市の小中学校で給食後に一斉に歯みがきをするイベントが始まりました。2年目からは幼稚園、保育園にまでイベントの輪を広げ、1週間の期間で行う「歯みがきウィーク」としました。イベント当日、歯みがき開始の合図、および歯みがき中に音楽を用いることにし、曲は「歯みがきサンバ」を選択しました。曲は、福島県歯科医師会を通してダウンロードし、全校にCDを配布しています。

イベントは1年だけではなく継続させることを計画していたため、事後アンケートも作成しています。それは養護教諭と学校歯科医に対しておこないませんでした。1年目は手探りの状態でかなり戸惑いましたが、2年目はスムーズに進みました。これは、1年目にアンケートを実施し問題点を解決して臨んだことによるものです。児童の反応は、小学校低学年は「歯みがきサンバ」をととても喜んでくれてイベントに参加してくれました。給食後の歯みがき習慣が以前より増加している学校もあり、成果は確実に出ていると思われます。

また調査によれば、学校単位で給食後歯みがきを行っている学校と行っていない学校の間ではDMF指数に1.5の差が認められ（平成20年時データ）給食後の歯みがき習慣だけで判断はできませんが、食後の歯みがき習慣はう蝕予防に有効であるのに間違いはないとの結論が出ています。

児童・生徒が「生きる力」を身につけるために、私たちが出来ること、やるべきことは様々です。これからも、児童・生徒の健やかな成長を願って活動に取り組んでいきます。



東大和市歯科医師会 東大和学校歯科委員会

参事 黒米譲二

東大和市は東京の多摩北部にある人口90,000人の街です。市内には緑も多く、市の北側には1927年に造られた人口湖の村山貯水池（多摩湖）があり、市民の憩いの場になっております。

また東大和市は、子育てがしやすい街として有名で、待機児童の少なさは多摩地区でもトップクラスになっております。

市内には小学校が10校、中学校が5校あり、それぞれの学校に東大和学校歯科委員会から学校歯科医が派遣されております。その他、保育園と幼稚園が25ヶ所あり、そのうちの16ヶ所に東大和市歯科医師会の先生方が学校歯科医になっております。

東大和市内の小学校の口腔内の特徴としては、都内の市の中で、う蝕被患率がかなり高い方で、悪い方から数えて何番目というくらいなので本腰を入れて考えなくてははいけません。東大和市歯科医師会では数年前から東大和学校歯科委員会を設立し、各々の学校でのう蝕被患率、歯肉炎被患率、学校歯科医による講話がどのくらいなされているのか、健康診断後の受診勧奨通知の回収率などを調べ、市の教育委員会や各学校の養護教員などと話し合い、市内の子供達の口腔環境の改善に努めております。本来は給食の後に各々の生徒に歯磨きを行ってもらいたいのですが、様々な関係からその体制がすべての小中学校で実行できないのがもどかしい実態です。

以下、平成29年度の東大和市内の小中学校での学校保健取組プランです。

- ① 歯と口の健康週間（6月4日～10日）及びいい歯の日（11月8日）に給食後の歯ブラシによる歯みがきを実施
- ② 歯みがき指導・歯科講話の実施
・全ての学校で実施する
- ③ 表彰の実施及びポスター作成など



- ・ 歯科健康診断でむし歯ゼロだった児童・生徒を表彰し、保健だよりなどで紹介する
- ・ 児童・生徒が作成したポスターを校内に掲示する
- ・ 歯のコンクール等に、全校が積極的に応募する

- ④ 「歯科健康診断結果のお知らせ」による受診推奨
- ⑤ 歯科健康診断後未受診者への受信推奨通知の配布
- ⑥ 年間を通じて、給食後に歯みがきを実施
・ 実施にあたっては、東大和市保健研究部が作成した「歯もピカピカ心もピカピカ」の歌を放送するなど各校が工夫した取り組みを行う。

以上のような素晴らしいプランを全ての学校で実施することができれば数年後には東大和市内の小中学校の児童・生徒のう蝕被患率も歯肉炎被患率も驚くほど低くなっているに違いありません。

私たち、東大和学校歯科委員会も教育委員会の方々、養護教員の先生方と粘り強く話し合いを続け、市内の子供たちの口腔環境を整えていきたいと切に望んでおります。

「口臭」をテーマとした学術研究について

学術担当理事 山室直子

末高執行部発足後、初の冊子となります。担当理事も一新、学術研究委員会のメンバーもリフレッシュしての船出です。

過去の冊子の多くは児童を対象にしたもので、中高生対象にも何か作ってほしい、という要望が担当学校歯科医からあったという経緯の下に、今回のテーマを「口臭」と決定いたしました。テーマを決めた頃、時を同じくして某会社が口臭に特化した歯磨剤を発売し始め、それに追従するように他社からも同様の歯磨剤が出ています。また、他人が指摘しにくいこともあり、自分の口臭をはかるアプリが来年にもできると聞きましたが、そのような事実からもまさに「口臭」は「トレンド」と言ってもいいようです。しかし、「口臭」を学問として大学で学ぶようになったのは比較的最近のことですから、意外に知識として理解されていないのが現状かもしれません。

「口臭」を今の生徒たちはどの程度気にしているのでしょうか。「口が臭い」ことがきっかけでいじめがあったり、あるいは不登校になってしまうことにもなりかねない、大変デリケートなテーマですが、いくつかの中学校、高校にご協力をいただき、東京都学校歯科医会始まって以来の大規模アンケートを行いました。そして、学識に「口臭」と言えばこの方、東京医科歯科大学息さ

わやか外来の川口陽子先生、というこれ以上ない強力な布陣で只今、着々と完成に近づいております。

先生方は悩まれたことはありませんか？ 学校で口腔衛生保健教育、いわゆる講話、の内容について。何をどのように話をしようか？ 中学生、高校生となると、難しい年齢ですし、しかも高校生は保健教育を受けられる最後のチャンスですから、幼少期からの保護者による口腔ケアから自立した口腔ケアに導いてあげることが、我々の使命だとすると、どんなことを話したら受け止めてもらえるのでしょうか？

川口先生はおっしゃいました。生徒たちが何を気にしているのか？ 生徒たちが気にもしていないことを一方的に話ししても聞き入れてもらえないですよ、と。今回のアンケートは生徒たちの口腔衛生に関する意識調査でもあります。

お手元に届いたときに未開封のままにならない冊子を作ろうということで、私たちは今発刊に向けてラストスパートをかけております。口臭の基礎知識はもちろん、今時の中高生の生活実態が少しでもわかり、先生方の学校での保健活動のみならず、今日からの臨床にお役に立てればと思っております。乞うご期待！

第69回関東甲信越静学校保健大会 及び歯科職域部会に参加して

広報担当理事 奥野圭子

第69回関東甲信越静学校保健大会は、上野駅から新幹線で約50分で到着する高崎駅から徒歩10分ほどの群馬音楽センターで開催されました。ここは、日本にモダニズム建築を多く残したアントニン・レーモンドが設計した建物としても有名で、遠くから見ても大変洒落た建築物でした。

開会式に続き、特別講演はアルペールビル冬季五輪スピードスケート銀メダリストである黒岩敏幸氏による「スピードスケートが教えてくれたこと～自分を信じ、仲間を信じ～」でした。黒岩敏幸氏は、嬌恋村出身で友達がスケートをしているからというのがスケートを始めたきっかけだそうです。高校になるまでは成績も振るわなかったということです。親御さんも寒いから休んだら？とおっしゃっていたそうです。成績が振るわなかった時や、コーチに厳しい指導を受けて悩んだ時も続けてこれたのは、友達が練習に行くというから、友達が続けるというから自分も……という気持ちだったそうです。その後、成績が徐々に上がり始めると、次はワールドカップにでたい、表彰台に上りたい、と思うように変化し、特に大学に入学してからは、全国から様々な学生が集まり練習することで、切磋琢磨され成績も上がってきたそうです。アルペールビル冬季五輪の年は、ワールドカップで世界を転戦していたので、日本から出発したわけではないので緊張感なく試合でき、いつもの表彰台通りの銀メダリストという成績がとれたとおっしゃっていました。その後、怪我をして苦しい時が沢山あったそうですが、その時もコーチ、友達、リハビリチームの方々が支えられ、また、二人で併走するため隣の選手とはライバルでありながら、目標にしたりされたり現在も友達付き合いしてる選手もいるそうです。講演では、銀メダルを取得したときの試合を、流してくださり当時の記憶が呼び戻されました。また、会場に銀メダルを回してくださり、見て触ることができ感動しました。

歯科職域部会は、さらに古い街並みを15分ほど歩いたところにあるホテルグランビュー高崎の3階のあかぎの間で、午後4時30分から70名以上が参加し開催されました。今回は、各地区を代表される30名の先生が代表者会議に出席して、二つの協議題について協議し、1つ目は群馬県から協議題として提案された、歯科の就学時健康診断における「う蝕多発傾向者」の判定について、でした。公益財団法人日本学校保健会に設置した「就学時の健康診断マニュアル改訂委員会」で作成し

た「就学時の健康診断マニュアル」（平成29年度改訂、平成30年3月30日発刊）の中で、歯科検診「検査の判定」の中に、新たに追加された「う蝕多発傾向者」という項目についてです。「う蝕多発傾向者」とは、歯科疾患管理料におけるう蝕多発傾向者の判定基準（5～7歳）を準用し歯冠修復終了歯が、乳歯3歯以上、または、永久歯1歯以上で、かつCOが検出された者とし、保護者に保健指導を行うとともに地域の歯科医療機関との連携を促す。とあります。この件について各地区の対応を伺ったところ、具体的にはこれからのところが多いのですが、「う蝕多発傾向者」という言葉の響きがマイナスに作用するのではないかな？等活発な議論が行われました。現在、健康診断については、日本学校歯科医会のホームページからもわかりませんが、今後、会員に向け丁寧な説明がなされるそうです。2つ目の協議題は、日本学校歯科医会から、各団体の会員入会率の向上について各地区が努力していることについてでした。埼玉県歯科医師会の回答に、各地区の地域性や地理的条件もあるが、歯科を含めた学校保健のデータが管轄している文科省から日本学校歯科医会を通し我々のもとに知られるということを理解してもらい、それに目を通すのが「学校歯科医」の責務であると周知していくのが大切ではないかとあり、この解答は説得力がありました。東京都では、東京都学校歯科医会の入会率は90.6パーセントです。入会率向上に向けて学校保健（学校歯科医）研修会の開催（6ブロックに分けて、1年3ブロックで二年間同じ内容で、都学歯からの学校歯科保健に役立つ内容の研修会を実施）、委員会委員を各地区からなるべく均等に選び情報の偏りがないように努めて会員親睦をすること、ブロック地区支援担当をおき東京を8ブロック（5ブロックプラス多摩地区は広いので3地区）に分けて近隣地区での学校歯科医会への活動発表をし、近隣のお互い顔が見える情報交換するようにしていることがあります。他にも会則に日本学校歯科医会加入をうたっている地区があったり、真摯なお願いをして入会率をあげている地区、これから入会率をあげようとしている地区、100%の入会率の地区等いろいろあることがわかりました。

最後に次回当番県である松崎新潟県歯科医師会長のご挨拶（平成31年8月2日金曜日に開催予定）、蟻川群馬県学校歯科医会副会長による閉会の言葉で、活発に協議された会は閉会しました。

地区ニュース

港区麻布赤坂学校歯科医会 基礎研修会

麻布赤坂

平成30年9月19日、麻布赤坂歯科医師会の事務所において基礎研修会が開催されました。本会では会員の歯科健康診断能力の向上および診断基準の均一化を図ることを目的として基礎研修会を立ち上げ、今年で8年目を迎えました。

研修のメインとなるカリエス判定研修では、あらかじめ選りすぐった20症例ほどの臨床写真を会員に供覧し、各自が判定を行った上で、症例の判定基準について解説しました。供覧した症例の中には判定に頭を悩ませるものもあり、その後の担当委員による事例を交えた解説では、新入会員だけでなくベテランの会員もうなずきながら真剣に耳を傾ける様子が伺え、ディスカッションでも盛り上がりを見せました。

その後、健康診断票記入の際の注意事項と併せて、



日本学校歯科医会による「学校歯科医の活動指針について」を改めて解説し、周知しました。

当会では港区内の人口増加にあわせて幼稚園・保育園医が増加している状況であり、今後も垣根のない情報の共有や判定基準の統一化により共にレベルアップしていくことが重要と考えております。基礎研修会はこの点においても担う役割が大きいため、今後も工夫しながら研修を継続して行く予定です。（林 大悟）

地区ニュース

神田地区の歯科保健活動

神 田

千代田区神田学校歯科医会は4月に、千代田区歯科医師会、千代田区教育委員会、日本大学歯学部附属歯科衛生専門学校の協力のもと、学校巡回の打合せを行い、5月に学校歯科医が歯科健康診断を済ませ、6月の歯と口の健康週間に、4小学校、3幼稚園、1こども園で、よい歯の表彰式と講話を行いました。小学校4年生には、よく噛むことの大切さを教えるために咀嚼学習指導を行い、幼稚園児には歯みがきが上手にで



きるように正しい磨き方を指導しました。

（橋本雅之）

地区ニュース

京橋地区の再開発

京 橋

中央区京橋地区では湾岸の高層住宅建設ラッシュとともに八重洲・京橋地区の再開発が進んでいます。東京駅直近の有名な城東小学校が取壊され再開発後は超高層ビルに入ります。

全く新しい学校の教育形態がどのようなものになるのか、そこで育つ学童はどのような影響を受けるのかは予測の域を超えています。将来の都市の学校のひとつのモデルとして注目されています。学校歯科医の



職務も変化するのかも知れません。

（中村 道）

地区ニュース

麹町地区の歯科保健活動

麹 町

麹町地区では9月1日に開所した認可保育所に新しい園医が誕生しました。当地区では、従来より新任予定の園医・校医を事前に研修するシステムが完成しています。今回も3月に麹町歯科医師会宛ての推薦依頼があり、学校歯科医会がそれを受けて歯科医師会会員に募集をかけ、応募者1名を半年間研修しました。その内容は8月を除き毎月開催される麹町学校歯科医会・研修会への参加、園医・校医が各担当園・校で実施する歯科保健教育の見学・補助、学校保健関連団体が開催する研修会等への参加です。都学歯・日学歯の主催する研修会は本来会費を払った会員向けのものですから以前は参加申請をしていましたが、現在は誰でも受講できるようになっています。

かつて歯科医師なら誰でも園医・校医になれるという時代がありました。歯科健康診断をすれば保健管理、むし歯予防デーで講話をすれば保健教育、校長室で談話をすれば組織活動というのですが、日学歯の専門研修レベルからすれば甚だ不十分です。

即ち歯科医師免許は学校歯科医免許を兼ねていないのです。東京都教育委員会、東京都学校保健会、都学歯主催による「学校保健（学校歯科医）研修会」や日学歯の学校歯科医生涯研修制度「基礎研修」などを受講し、必要な知識・技能を習得してから園医・校医になるのが理想です。就任してから受講するのでは、それまでの期間は無免許園医・校医となってしまう。運転免許も学会の認定医も、審査に通ったものに与えられる資格です。社会の常識にそぐわないと国民の信頼が得られない時代です。無免許校医をなくすことはすべての学校歯科医が念頭に置くべき課題ではないでしょうか。

（愛知徹也）

トピックス////

平成30年度第1回参事会

平成30年7月5日（木）16時30分より、歯科医師会館3階第1会議室でおこなわれました。鈴木副会長の開会、末高会長の挨拶に続いて、東京都教育庁地域教育支援部歯科保健担当の山田課長、日本学校歯科医会の川本会長、東京都歯科医師会の山崎会長、東京都歯科医師連盟の大越会長より来賓挨拶を頂きました。

恒例で末高会長が座長となり、箭本理事から(1)公益社団法人への移行について、澤田専務理事より(2)日学歯更新研修会と学校保健（学校歯科医）研修会について、西村理事から(3)創立70周年・法人化40周年記念式典・祝賀会について、箭本理事から(4)東京都学校歯科保健功労者表彰、学校歯科医30年勤続表彰について、清水理事から(5)学校歯科保健優良校表彰及び歯の作文募集について、高橋文夫理事から(6)「図画・ポスターコンクール審査会および表彰式」「歯・



口の健康啓発標語コンクール」について、澤田専務理事より(7)全国学校歯科保健研究大会（沖縄）参加の件について報告がありました。

参事の先生方からは、電子メールの活用、オリンピックへの協力について等、ご意見、要望が出され、最後に長沼副会長の閉会で幕を閉じました。

トピックス////

創立70周年・法人化40周年記念式典・祝賀会 第1回実行委員会

平成30年7月26日（木）17時より、歯科医師会館1階大会議室にて開催されました。互選により委員長に小嶋 憲先生、副委員長に東川輝子先生が選出されました。平成31年2月28日（木）18時より東京ドームホテル天空の間にて開催が予定されている東京都学校歯科医会創立70周年・法人化40周年記念式典並びに祝賀会の準備と実施のために、都合3回の開催予定です。実行委員の先生方、どうぞよろしくお願いいたします。



トピックス////

平成30年度健康づくりフォーラム

平成30年7月31日（火）10時より、なかのZERO大ホールで行われました。開会、挨拶に続き、国立大学法人山梨大学教育学部長である中村和彦先生による「健やかな育みをもとめて～いま私たち大人がなすべきこと～」が講演されました。表彰校発表、一般発表に続き、特別発表は、澤田章司東京都学校歯科医会専務理事による「歯・口の安全」でした。

開会で尾崎治夫東京都学校保健会会長が現在東京で感染症である梅毒が増加していることを皆に知らしめていくことが必要ではないかとおっしゃっていました。中村和彦先生の講演では、子供のライフスタイルの崩壊＝子供たちの生活から「遊び時間」「遊び空間」「遊びなま」が減って体をつかって遊ぶことも少なくなることから楽しく体を動かす時間が減少し、食や睡眠にも問題を抱えながら育ち、元気な大人に成長することができないのではないかと提言されました。育ちには発達段階があり、持ち越し効果を視野に



いれた子育て、教育が必要であるという言葉には共感できました。20歳以上の人が週一回60分以上運動している比率が、アメリカ、ドイツが80%を超えているのに日本は50%にとどまっているのもそういうことに原因があるとのことでした。澤田専務理事の講演では、「歯の外傷時の応急セットを何セットか用意しておくべきでは？」との意見に対して、たくさんの養護教諭が頷いていました。

トピックス////

平成30年度 作文審査会

平成30年9月6日（木）15時より歯科医師会館2階会議室において作文審査会が開催されました。本会役員及び広報委員会の24名により、第一次審査を行い、小学生289作品、中学生171作品の応募作品の中から、小学校の部70作品、中学校の部35作品の入選作品を選出いたしました。



トピックス////

平成30年度「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」審査会および優秀作品の展示

平成30年9月12日（木）17時30分より、歯科医師会館3階第1会議室において上記審査会が開催されました。審査委員長に国立大学法人東京学芸大学名誉教授の増田金吾先生を選出し、19名の審査員により審査が行われました。

保育所・こども園・幼稚園の部10作品、小学校低学年・高学年の部92作品、中学校の部33作品、高等学校の部4作品、特別支援学校・特別支援学級の部6作品の中から各部1～3位までの優秀作品を選出いたしました。

各部門の優秀作品は都営地下鉄市ヶ谷駅プロムナードギャラリーで下記の期間、展示いたします。

平成30年11月8日（木）～12月20日（木）



トピックス////

城東地区学校歯科医会連合会 役員連絡協議会

平成30年10月11日（木）19時より、柴又帝釈天に近い「あびす家」で、城東地区学校歯科医会連合会役員連絡協議会が行われました。担当の葛飾区学校歯科医会の塚本専務理事の司会のもと、昨年担当の足立区学校歯科医会の岡谷会長の開会、葛飾区学校歯科医会の飯塚会長、末高会長の挨拶に続き、足立区学校歯科医会の熊田会計担当理事より会計報告がありました。特別講演は、澤田専務理事の『就学時歯科健康診断マニュアルの改訂について』で、う蝕多発傾向者の判定基準について配布資料をもとに説明がありました。

本所学校歯科医会副会長の乾杯のもと、おいしい和



食とともに各地区の情報交換が行われ、あっという間に次年度担当の金丸江戸川区学校歯科医会会長の閉会の辞を聞く時間になってしまいました。

トピックス////

平成30年度学校保健(学校歯科医)研修会

学校保健(学校歯科医)研修会は、平成30年11月15日(木)15時から、東京都教育委員会、一般財団法人東京都保健会、東京都学校歯科医会の共催で歯科医師会館1階大会議室で行われました。東京都学校歯科医会の澤田専務理事の司会のもと、東京都教育庁地域教育支援部歯科保健担当課長の山田善裕氏、一般財団法人東京都学校保健会の尾崎治夫会長、末高会長が挨拶されました。尾崎会長の健康教育から、将来ヘルスリテラシーを向上させようとの思いには感銘を受けました。

次に「学校歯科医の職務について」東京都教育庁地域教育支援部歯科保健担当課長の山田善裕氏が御講演なさいました。その中で、公立高校生より私立高校生の方が多いこと、中学生も三分の一は私立校生であることは東京の特徴であり、またCO・GOを含め学校歯科医とかかりつけ歯科医との連携が重要だとの事でした。

続いて神奈川歯科大学大学院歯学研究科口腔統合医



療学講座小児歯科学分野教授で公益社団法人日本小児歯科学会理事の本木茂成先生が「小児期の口腔機能と歯列・咬合の育成」について御講演なさいました。歯科における口腔機能の発達支援で、低年齢からの口腔筋機能療法が重要であるということ、審査項目等とても勉強になりました。

長沼副会長の閉会があり、有意義な時間が終了しました。

トピックス////

平成30年度ブロック別学校歯科医研修会

東京都教育委員会、東京都学校保健会共催のもと東京都学校歯科医会の運営でブロック別学校歯科医研修会が開催されました。本年度は、中央ブロックが9月27日(木)歯科医師会館3階会議室、城東ブロックが10月18日(木)江東区歯科医師会館、城西ブロックが11月22日(木)歯科医師会館3階会議室で行われました。

城東ブロックでは、澤田専務理事の司会のもと、東京都教育庁地域教育支援部歯科保健担当の山田課長、東京都学校保健会の正木専務理事、東京都学校歯科医会の末高会長、江東区学校歯科医会の小川会長が挨拶されました。山田課長は連携の大切さ、正木先生はフレイル予防に医師会が力をいれていること、小川先生は江東区で認可保育所が増えていることなどをお話されました。

講演は、日本歯科大学附属病院小児歯科の内川喜盛教授の「乳幼児から考える学校歯科保健活動～0歳から20歳になるまで継続的な口腔保健支援を目指して～」で、保育所・幼稚園・認定こども園の現状、問題点、現場の声を教えて下さいました。幼児期より歯みがきをすることで、歯みがきの大切さを学ぶことは後々とても効果があるという話は、食育等いろいろなことにいえると思いました。また、歯みがきの事故は1～2歳に多いのも、役立つ知識となりました。

次に澤田専務理事の講演は、「就学時健康診断の改定について」でした。改訂されて追加された「う蝕多発傾向者」の意義は、入学時までにかかりつけ歯科医と連携して、生活習慣等の改善や予防管理を行わないと、う蝕が多発する危険性があることを保護者に理解してもらうことであり、就学時の健康診断では、COに関して所見欄に記載する必要がなく、就学時の健康診断の結果のお知らせには、「むし歯になりやすい傾向があります」のように保護者に配慮した記載が望ましいということでした。



中央ブロック



城東ブロック



城西ブロック

第53回 東京都学校歯科保健研究大会 (創立70周年・法人化40周年記念大会)

期 日 平成31年 2月28日 (木) 13:30受付開始

会 場 文京シビックホール 大ホール

日 程 14:00 開 会

表 彰 式 学校歯科保健優良校入選校・学校歯科保健功労者

14:30 歯の作文 優秀作品入選者表彰・発表・講評

図画ポスターコンクール画評・入選者表彰

標語入選者表彰

15:10 研究発表 平成29・30年度 生きる力をはぐむ歯・口の健康づくり推進事業

台東区立東浅草小学校

15:40 特別講演 「パラリンピアンが考えるスポーツの力」

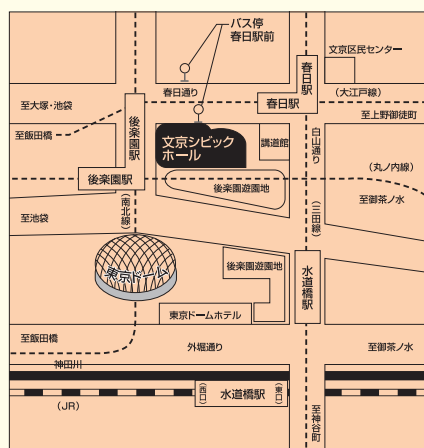
講師 パラリンオリンピック金メダリスト (アルペンスキー)

一般社団法人日本パラリンピアンズ協会副会長

平昌2018パラリンピック

冬季競技大会日本代表選手団団長 大日方邦子

17:00 閉 会



文京シビックホール

〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21

TEL 03-5803-1100

【最寄り駅】

- 東京メトロ丸ノ内線「後楽園駅」 → 4aまたは5番出口 (徒歩1分)
- 東京メトロ南北線「後楽園駅」 → 5番出口 (徒歩1分)
- 都営地下鉄三田線「春日駅」 (文京シビックセンター前)
- 都営地下鉄大江戸線「春日駅」 (文京シビックセンター前)
→ 文京シビックセンター連絡通路 (徒歩1分)
- JR中央・総武線「水道橋駅」 → 東口 (徒歩9分)

会 務 報 告

6/14 (木)	第3回事業部会	会館
	予演会	会館
6/15 (金)	第2回学術研究委員会	会館
6/21 (木)	第3回理事会	会館
	第3回広報委員会	会館
6/28 (木)	東京都学校歯科保健推進校 (園) 支援事業 選定校連絡会	会館
6/29 (金)	優良校表彰調査票 (都学歯締切)	
7/5 (木)	第4回事業部会	会館
	第1回参事会	会館
	参事会懇親会	アルカディア市ヶ谷
7/12 (木)	第4回理事会	会館
	優良校表彰審査会	会館
	第4回広報委員会	会館
	記念誌についての打合せ会	会館
7/19 (木)	東京都立高等学校学校保健研究会役員連絡会	会館
7/26 (木)	創立70周年・法人化40周年記念式典・祝賀会 第1回実行委員会	会館

7/31 (火)	平成30年度健康づくりフォーラム なかのZERO 大ホール	
	歯の作文 (都学歯締切)	
8/2 (木)	公益社団法人移行についての打合せ会	会館
8/23 (木)	第69回関東甲信越静学校保健大会 群馬音楽センター 第69回関東甲信越静学校保健大会歯科職域部会 ホテルグランビュー 高崎	会館
8/27 (月)	第3回学術研究委員会	会館
8/30 (木)	ライブラリー打合せ	会館
	第5回事業部会	会館
	創立70周年・法人化40周年記念式典・祝賀会	会館
	第2回実行委員会	会館

【訃 報】

練 馬 石川 明 (練馬区立大泉南小学校) H30. 8. 21ご逝去
向 島 熊谷 京一 (曳舟幼稚園) H30. 10. 29ご逝去
上記の先生がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り
致します。(敬称略)